

「MR.VIP」

5月の連休に大連に行ってきました。大連は人口580万人の遼寧省第2の都市です。今回は大連で経験した貴重な体験をお話します。

朝9時、ホテルを出てタクシーに乗ると既に大渋滞でした。車は全く動きません。タクシードライバーも何とかしようと裏道を走りますが、どうにもなりません。どうやら「VIP」が大連入りして、メインストリートを完全封鎖したようです。

午後2時、市政府広場で女性騎馬警官を眺めていました。隊列をつくり、微動だにしない。その雄姿は、美しく、カッコいい。しばらくすると、大通りから車が消えていく。女性騎馬警官は緊張の面持ちでサーベルをかざす。すると、車列が猛スピードで隊列の前を通り過ぎていきました。そのなかに一際立派なリムジンがありました。この中に「VIP」が乗っていたようです。この「VIP」こそ、北朝鮮の将軍様「金正日」です。将軍様の半径50メートルに近づいた数少ない日本人となった瞬間でした。



正司 毅

「サハリンでゴルフ？」

サハリンでというよりロシアで一番人気のあるスポーツといえば、サッカーです。国内の主要都市には必ずサッカースタジアムがあり、週末ともなればそれらのスタジアムや学校のグラウンドで子供から大人までひとつのボールを真剣においかけています。

そして今サハリンでは新しいスポーツが「登場」しました。それはゴルフです。ユジノサハリンスク市郊外に(エアードーム型)室内競技場がオープンしました。そこにはサハリン初となる「打ちっぱなし」や「18ホールのパターゴルフ」また「シミュレーションゴルフ」などの設備が整えられており、石油メジャー関係の欧米人や富裕層のロシア人家族が楽しんでいる姿を見かけることが出来ます。

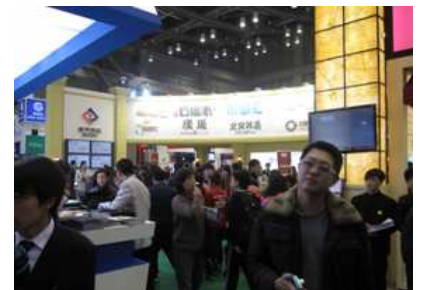
また当施設には欧米人のレッスンプロがおりロシア人に教えているのですが、何といても驚きなのは受講者の多くが子供たち(8歳から15歳くらい)であるということです。受講料は1時間約3000RUB(約9千円)とこのことで決して安くはありません。しかし海外にいくチャンスが多い富裕層の人たちは欧米でのゴルフ人気を知っていることから、自分たちはゴルフをしないものの子供の将来にとの思いからレッスンをさせているようです。いずれこの子供達の中からメジャータイトルを取る選手も出てくるのではないのでしょうか。なんといっても基礎体力のあるロシア人ですから、テニス界のシャラポワ選手のように…



對馬 雅弘

「中国不動産バブルの状況」 ~マンション編~

メディア等で連日中国の不動産バブルについて報道されている為、既知のところかもしれませんが、基本的なところに触れておくと中国というのは都市については土地は全て国有です。「所有権」は国にあり、一般的な国民がマンション等を買う際は、国民は国に土地を借りるという「使用权」を購入します。使用权は用途によって違いますが、居住用地は70年以下と定められています。ですが、国家主導で猛烈なスピードで開発が進む中国。国が「ここを高速道路にする」と言えば、そこにあるものは余程の事が無い限り補償金を受取って立退かなくてはなりません。最近はその補償が充分ではないという不満が聞こえてきます。急激な不動産価格の値上がりにより、補償の金額では同程度の住居が確保できなくなっている様です。何より悲しいのは、せっかくのマイホームを失う事です。反面、土地が国有だからこそスピーディーかつダイナミックな開発が進んでいるとも言えます。つい最近、市場の資金が不動産に流れ過ぎているという事を一つの要因に銀行の預金準備率がまた一段引き上げられました。それでも、国民の不動産購入意欲は留まる事を知らない様に見えます。



中島 康成